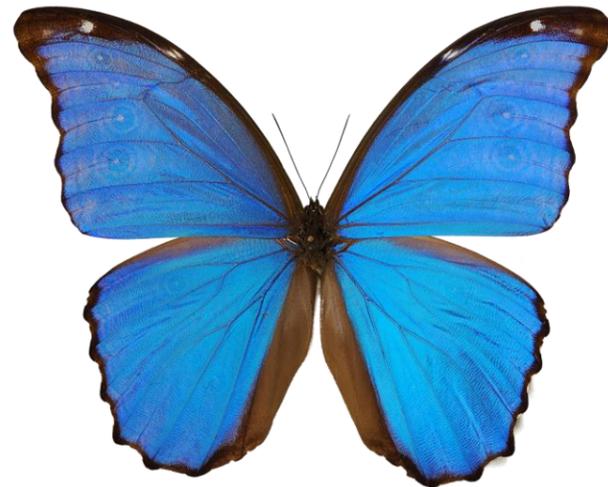


企画展示のご紹介

春の企画展「美しいチョウの世界」



ヴィクトリアアトリバネアゲハ



ディティウスモルフオ

■ 期間：4月20日(土)～5月6日(月・振) ※ 4/24(水)は休館  
■ 会場：こんちゅう館内多目的ホール  
■ 内容：多様な色・模様・形の翅をもつチョウは、「美しい」昆虫として、多くの人々を魅了しています。ただし、チョウの魅力はその「美しい」見た目だけでなく、擬態や変態、長距離移動といった生態にもあります。本企画展では標本展示を中心に、チョウの様々な魅力をご紹介します。

こんちゅう館ウラ話 君の名は？ ～解剖しないと分からない昆虫たち～

キオオトラフハナムグリ



でっぱりがある

ヒロシマオオトラフハナムグリ



でっぱりがない

昆虫を展示するときには、まずは図鑑をめくりながら、その昆虫の名前を調べます。しかし、図鑑で形を見比べただけでは名前が分からないことがよくあります。例えば、広島県ではキオオトラフハナムグリとヒロシマオオトラフハナムグリというよく似た2種類のハナムグリが見つっていますが、外見だけでは両者の区別が付きません。そのような時には解剖して、体の中にある交尾器を見比べてみます。見た目は似ていても、交尾器を見ると違いがよく分かります。

ちなみに、以前はオキナワナナフシとして展示していたナナフシも、解剖するとヤエヤマトガリナナフシであることがわかったので、展示ラベルを変更しました。

(久我)

こんちゅう館 News

み〜んな主演!! 虫の館のスターたち ⑫

リュウキュウアサギマダラ  
Ideopsis similis



スジグロカバマダラ  
Salatura genutia



ひろこん ど派手イモムシーズ

チョウ目 タテハチョウ科



ツマムラサキマダラ  
Euploea mulciber

オオゴマダラ  
Idea leuconoe

こんちゅう館で展示しているチョウの幼虫には、ど派手な体色の種類がいます。上記の幼虫たちは、沖縄県に生息する、マダラチョウの仲間たちの幼虫です。彼らは、幼虫時代に毒を持つ植物(キョウチクトウ科やガガイモ科の仲間)を食べて育ちます。そして、彼らは、食べた植物から毒を取り込んで体内に貯めます。彼らの派手な色は、「毒を持っているから覚えてね! 食べないようにしてね!」と、敵となる鳥たちに危険を伝える警告色として働くと考えられています。(藤井)



イベント情報  
はこちらから

# ヨロイモグラゴキブリ *Macropanesthia rhinoceros*

ゴキブリ目 オオゴキブリ科

こんちゅう館職員かんしよくいんの“推し虫おむし”を紹介するコーナー。今回の“推し虫おむし”はヨロイモグラゴキブリです。



## どんな昆虫？

成虫の体重は30g（日本のカブトムシの3倍以上）にも達し、世界で最も重いゴキブリとして知られています。

オーストラリア東部のサバンナや乾燥林に生息し、「モグラ」という名前の通り地中に巣穴を掘って暮らします。

野外ではユーカリの落ち葉などを巣穴に運び込んで食べるそうです。こんちゅう館ではコナラなどの落ち葉と昆虫ゼリーを与えて飼育しています。とても長生きする昆虫で10年以上生きた記録もあります。

### お推し① 魅力的なビジュアル

地中生活に適応し、私たちがよく見かけるゴキブリと同じ仲間と思えないほど、分厚く重量感のある体つきをしています。体の表面は鎧のように硬くて頑丈です。成虫になっても翅はありません。

似てる!?



左：成虫（メス）  
右：オカダンゴムシ

巣穴を掘るために発達した脚のトゲ

### お推し② 家族愛

繁殖様式は「卵胎生」で母親はお腹の中で卵を孵して幼虫を産みます。家族で生活する「亜社会性」の生態を持つので、産まれた幼虫は大きくなるまで親といっしょに暮らします。



左：生後1年の幼虫  
右：生後7カ月の幼虫

母親に寄りそう幼虫たち

## こんちゅう館フォトギャラリー ～湿地の昆虫～

ここでいう湿地とは、湿原・池や沼・川などを含めた水辺環境です。このような変化に富んだ環境に適応して、そこに生息する昆虫たちも様々です。今回は春～初夏に広島市森林公園内で見られた湿地の昆虫たちを紹介します。



ホソミオツネントンボ *Indolestes peregrinus*  
トンボ目 アオイトトンボ科  
トンボの仲間としては珍しく、成虫越冬です。



※羽化してまもなくの写真です。

シオヤトンボ *Orthetrum japonicum*  
トンボ目 トンボ科  
シオカラトンボに似ていますが、ややすんぐりした姿です。



オオアメンボ *Aquarius elongatus*  
カメムシ目 アメンボ科  
世界最大級のアメンボです。



ムカシヤンマ *Tanypteryx pryeri*  
トンボ目 ムカシヤンマ科  
飛んでいるより止まっていることの方が多いです。



ミスカマキリ *Ranatra chinensis*  
カメムシ目 タイコウチ科  
カマキリではなくカメムシの仲間です。



コガタノゲンゴロウ *Cybister tripunctatus*  
コウチュウ目 ゲンゴロウ科  
近年、西日本で増加傾向にあります。